



本日公表の 子会社再編について

オイシックス・ラ・大地株式会社

2025年6月26日

「これからの食卓、これからの畑」

より多くの人々が、よい食生活を楽しめるサービスを提供します

よい食を作る人が、報われ、誇りを持てる仕組みを構築します

食べる人と作る人とを繋ぐ方法をつねに進化させ、
持続可能な社会を実現します

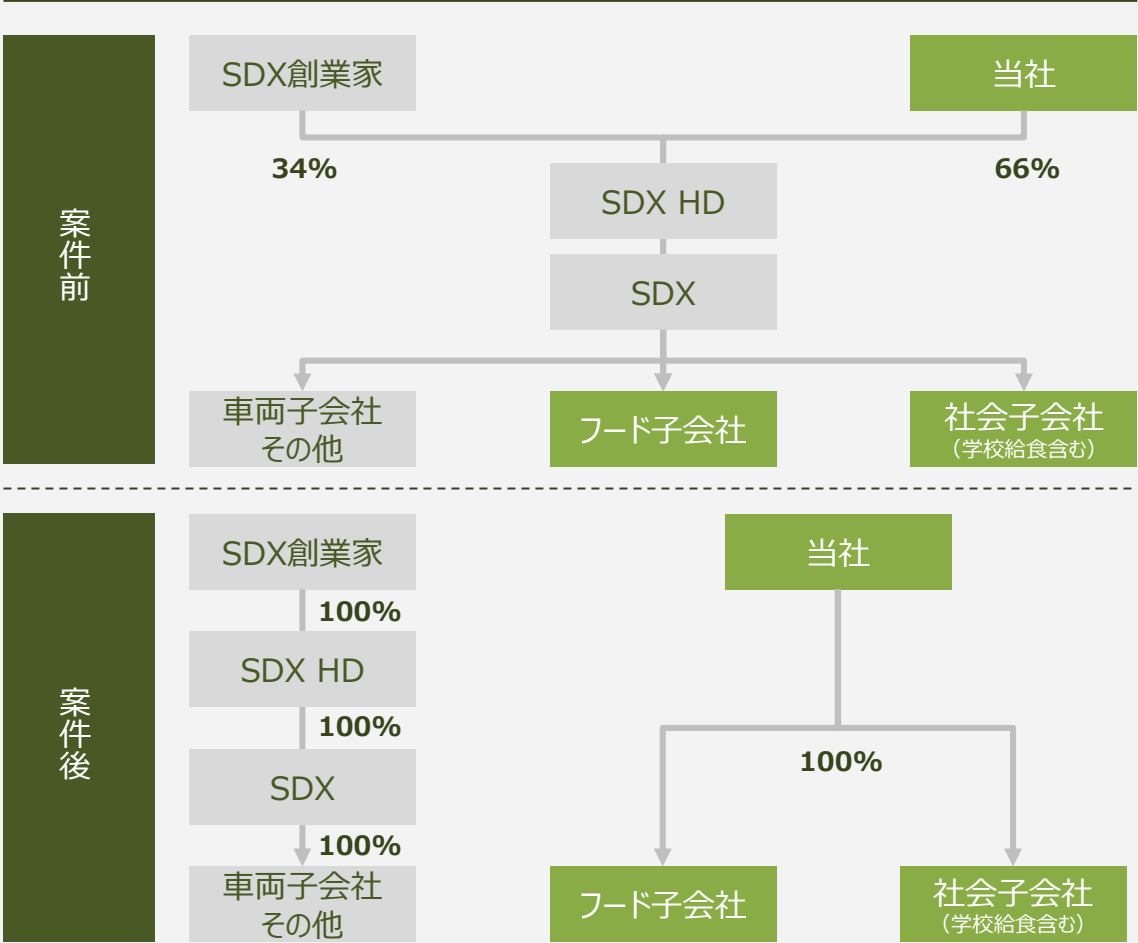
食に関する社会課題を、ビジネスの手法で解決します

私たちは、食のこれからをつくり、ひろげていきます

案件概要

概要	<ul style="list-style-type: none">シダックスホールディングス及びシダックス（SDX HD及びSDX）傘下のフード及び社会子会社の追加持分取得・完全子会社化（66%⇒100%）及び車両子会社その他の売却（66%⇒0%）
取得・売却価額	<ul style="list-style-type: none">取得価額は、守秘義務のため非開示<ul style="list-style-type: none">手許資金及び借入金により充当予定売却価額は、資産・負債等の変動を含め、精査中<ul style="list-style-type: none">概ね、借入金の返済に充当予定
今後のスケジュール	<ul style="list-style-type: none">6/26：案件を公表9/1（予定）：フード及び社会事業の完全子会社化10/1（予定）：車両その他事業の売却
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none">26/3期連結業績予想への影響は、11月中旬に実施する上期決算発表までに公表予定

取引ストラクチャー



* 決算短信セグメント：フード事業はBtoBサブスク、社会事業は社会サービス、車両その他事業は車両運行サービス、その他に含まれる。SDXの全社費用は調整額に含まれる

1

コア事業（BtoC及びBtoBサブスク）における意思決定の迅速化と円滑化

2

コア事業（BtoC及びBtoBサブスク）に注力するための経営資源の最適化

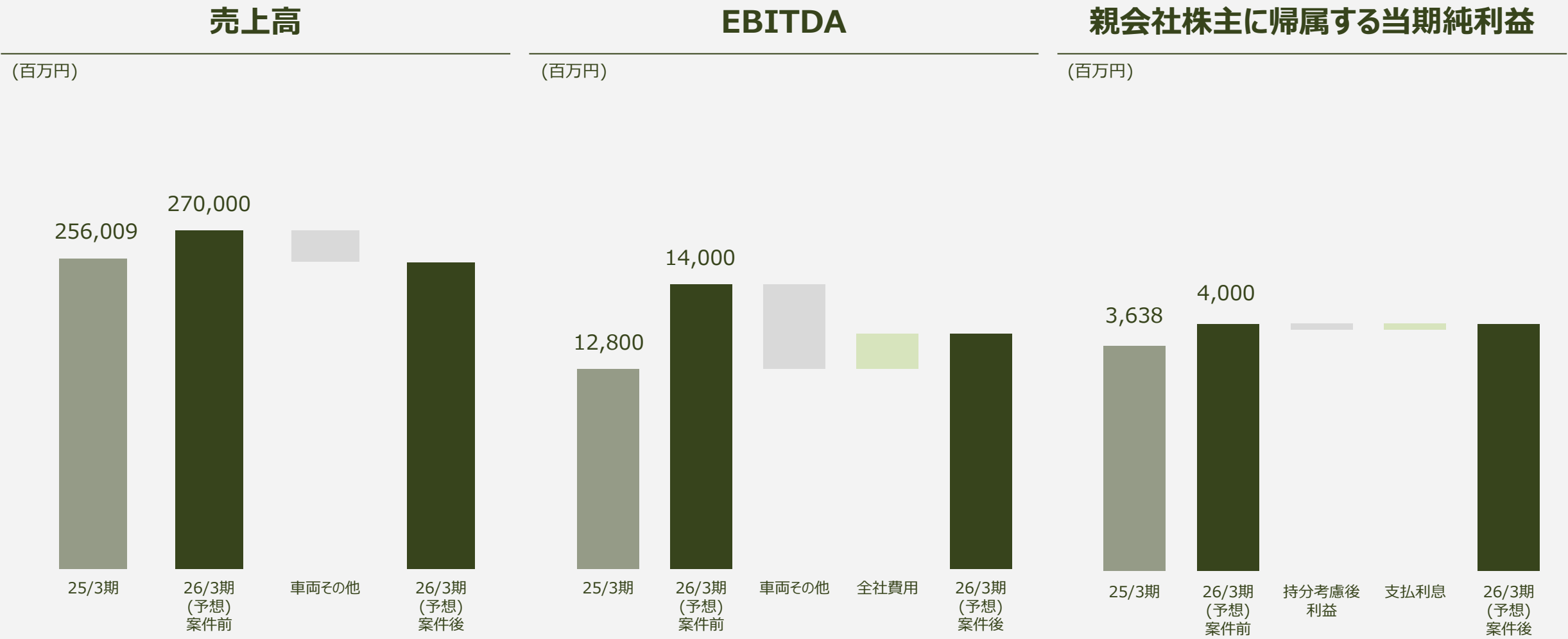
3

借入負担・資金調達コストの軽減による財務体質及び資本効率の改善

4

グループガバナンスの強化

- 車両その他子会社の売却により、売上高とEBITDAは減少
- 一方、フードおよび社会子会社の追加持分取得・完全子会社化により、親会社株主に帰属する当期純利益は小幅ながら増加見込み



* 26/3期（予想）案件前/案件後は、本案件以外の影響がなかった場合の概算 * 26/3期は、特別損益が計上される可能性あり（現時点では、業績に対する重要な影響は見込んでおらず）
* 持分考慮後利益＝持分変動に伴う非支配株主に帰属する当期純利益控除後利益（支払利息を除く）

- 車両その他子会社に関連する、のれん・顧客関連資産、借入金を含む資産/負債が連結対象から除外されるため、バランスシートは縮小

貸借対照表（25/3末）

(十億円)

現金及び預金：減少

- 減少：取得資金（借入金充当分を除く）
- 増減せず：売却資金（借入金返済に充当）

その他資産：減少

- 減少（～150億円）：車両その他子会社

のれん・顧客関連資産：減少

- 減少（～155億円）：車両その他子会社
- 増減せず：フード及び社会子会社（共通支配下取引のため）

現金及び預金 19.1	借入金 33.3
その他資産 76.0	その他負債 61.6
のれん・顧客関連資産 39.3	純資産 39.4

借入金：減少

- 減少（～100億円）：借入金返済
- 増減なし：SDX HDが保有する借入金の一部について、当社がリファイナンスを実施

その他負債：減少

- 減少：車両その他子会社

純資産：減少

- 減少（～75億円）：非支配株主持分

* 25/3末に本案件が実施されたものと仮定した場合の概算（25/3末時点の主要数値のみ記載）

- のれん・顧客関連資産、借入金を含むバランスシートの規模が縮小し、自己資本比率、Net Debt/EBITDAは大きく改善する見通し
- 親会社に帰属する当期純利益が小幅ながら増加するため、ROEは緩やかに改善する見通し

自己資本比率

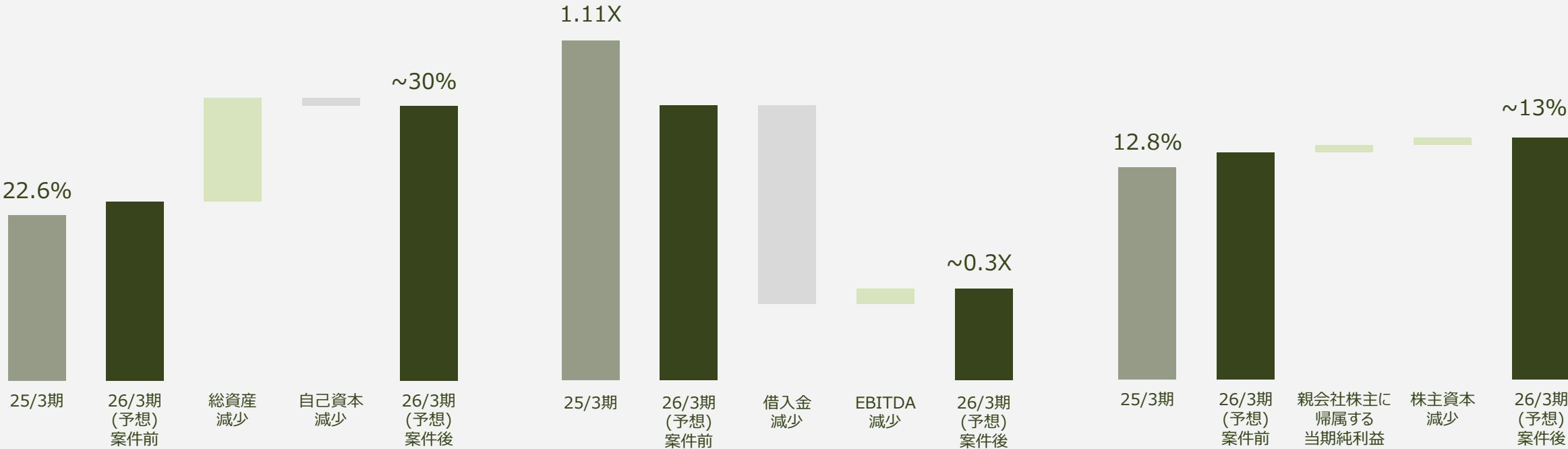
Net Debt/EBITDA

ROE

(%)

(X)

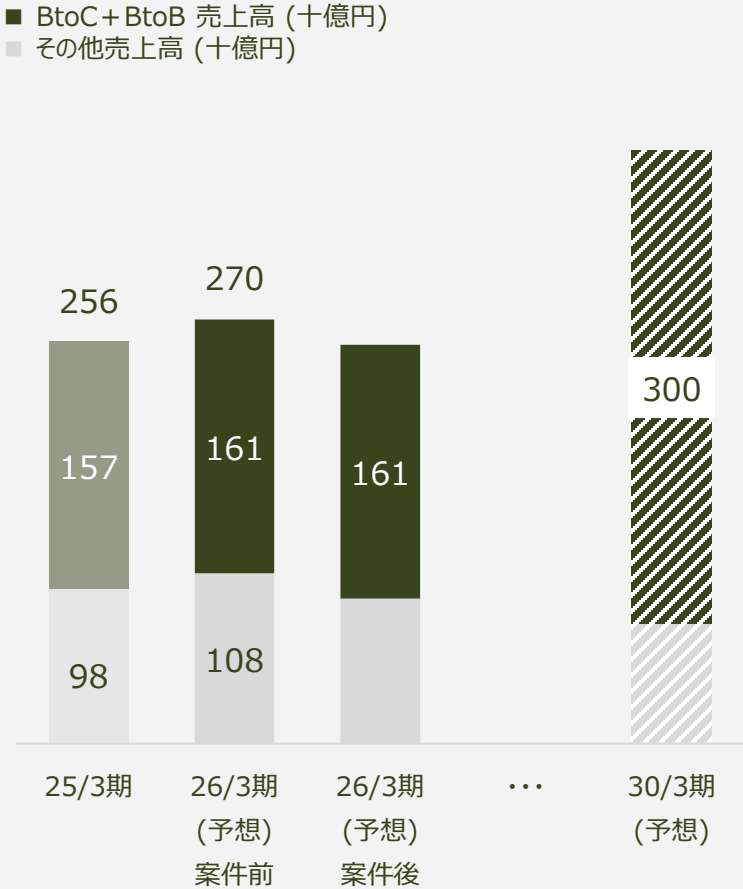
(%)



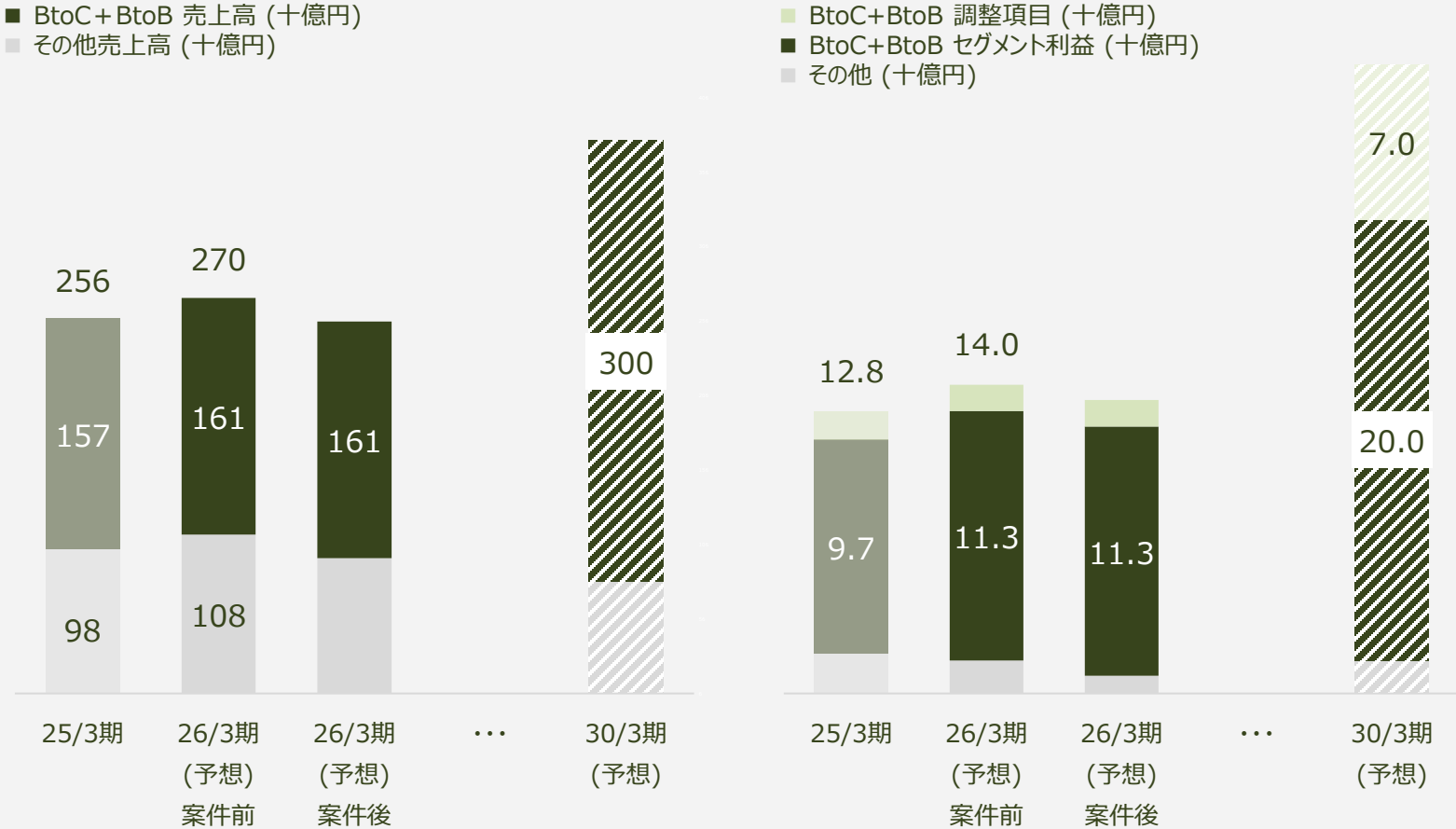
* 26/3期（予想）案件前/案件後は、本案件以外の影響がなかった場合の概算
* 自己資本＝純資産－非支配株主持分－新株予約権、Net Debt＝借入金－現金及び預金、ROE＝親会社株主に帰属する当期純利益÷平均株主資本

- 本案件による中長期目標への影響はなし

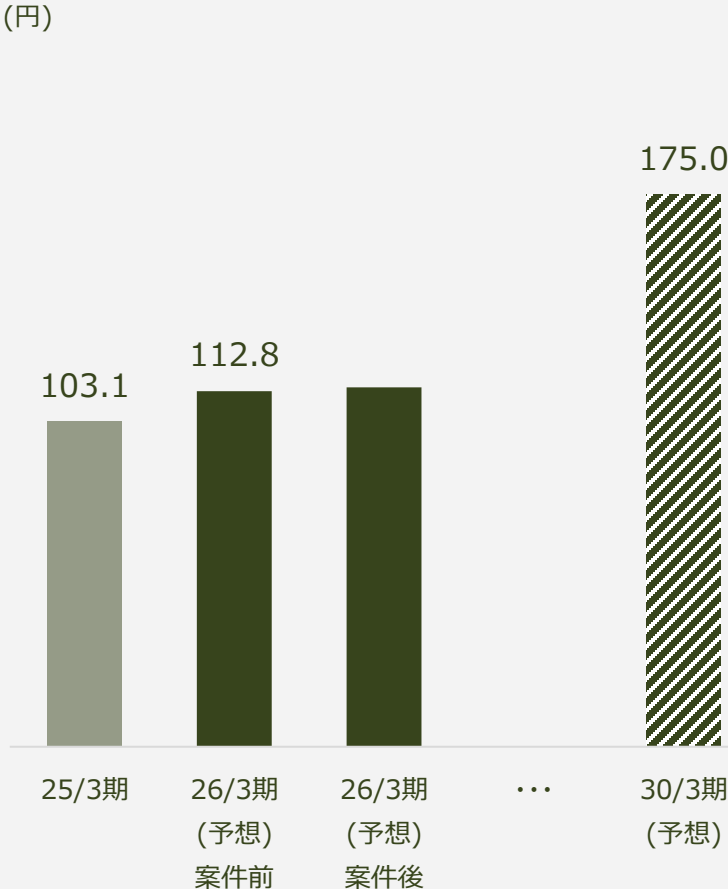
売上高



EBITDA



調整後EPS



* EBITDA = BtoC + BtoB 調整後セグメント利益 + その他 * 調整後セグメント利益 = セグメント利益 (短信) + 調整項目 (M&Aに係るのれん及び無形固定資産償却費等)、
その他 = BtoC及びBtoBサブスク以外の事業 + 全社費用 + のれん・減価償却費等 * 調整後EPS = EPS × (税金等調整前当期純利益 - 特別損益) ÷ 税金等調整前当期純利益

Q フード・社会事業の完全子会社化において、どのようなシナジー効果を期待していますか

- 当社は、2024年1月にシダックスが連結子会社となって以降、従業員の相互出向や協業を通じた経営資源や事業ノウハウの共有化などを通じて、シナジー創出に注力してきました。本件を通じて、これまで以上に企業文化の統合と課題解決のスピードを加速し、より早期に事業成長と収益性改善を実現できると考えております。

Q 今後の事業戦略にどのような影響がありますか

- 本件は、当社のコア事業であるBtoCおよびBtoBサブスク事業に注力するという中長期的な戦略に特段の影響を与えるものではありません。本件を通じて、コア事業への経営資源集中を一層推進し、意思決定の迅速化と円滑化を図ります。

Q 今後の株主還元方針に与える影響はありますか

- 株主還元方針につきましては、特段の変更はございません。当社は、配当を株主還元の基本と位置づけており、利益成長に応じて持続的に高めていく方針です。今後とも、財務体質の健全化と資本効率改善を通じて、株主還元を着実に進めてまいります。

本資料には、当社に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の作成時点における予測等を基礎として記載されています。

また、当該記述のために、一定の前提を使用しています。当該記述または前提は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、実現しない可能性があります。

このような事態の原因となりうる不確実性やリスクは多数ございますが、詳細は、当社の決算短信、有価証券報告書をご参照下さい。なお、本資料における将来情報に関する記述は、上記のとおり本資料の日付時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

【お問い合わせ先】
オイシックス・ラ・大地株式会社 IR部
Email : ir@oisixradaichi.co.jp